

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 5月 11日

事業所名 門真市障がい者福祉センター 放課後等デイサービスすてっぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	89%	0%	児童が多く、マットを使用している場合密接しすぎないように間隔を考えて設置している	
	2	職員の配置数は適切である	56%	33%	人員配置基準は満たしている	より良い支援を目指したり有給をより取りやすくしていくためにも人材を確保・育成していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	89%	0%	段差がなく手すり等も設置している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	67%	0%	目標を個人と全体で設定し、それぞれ取り組みを行っている。	今後も効率よく行える様に振り返り、改善を行っていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	78%	0%	対応可能なものについては全体で検討し、取り入れている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	89%	0%	毎年度、法人ホームページで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	22%	11%		今後、第三者による評価の実施を検討していく必要がある
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	89%	0%	定期的を実施している	今後も、内部だけでなく外部の研修にも積極的に参加していく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	89%	0%	定期的には保護者との面談を行い、一人一人の計画を立てている	他施設、学校との連携も取り、幅広い支援ができるようにしていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	89%	0%		今後も担当者会議等を行い、児童の現状の把握や今後の方向性を検討していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	78%	0%	ケース会議などで活動を考えている	引き続き、ケース会議や職員間で話し合いを行い活動プログラムを立案していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	56%	11%	職員間で話し合いながら行っている	固定化している所も有る為、視野を広げていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	67%	22%	基本の流れとそれ以外の時間において予定を職員間で検討している	コロナにより、外の散歩や買い物などいけない事が多かったため、対策しながら検討する
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	89%	0%	集団活動の取り入れは児童の様子や状況を見て実施している	今後も状況等を見て個別や集団活動を取り入れた活動を行う
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	78%	11%	日々の支援等はカードやファイルにまとめた内容を見ながら各々把握している。また職員間で話し合い決めたりもしている。	継続し支援内容を確認できるようにし、事前準備を行う
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	89%	0%	終礼時等で気付いた事があれば共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎回経過記録に記載している	改善に繋がる様に記録についての研修を行う等努める
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	89%	0%	最低半年に1回のモニタリングを行い見直しを行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	56%	22%		活動の組み合わせは行っているが偏りがないように行うようにする

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	67%	0%	電話にて現状を報告し様子を伝えたり今後の方針を説明している	今後も必要に応じて連携を図りながら参加していく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	78%	11%	送迎時の際や必要であれば電話での連絡を行っている学校もある	以前より軽減しているが、学校によっては連絡手段は家族経由にして欲しいと依頼がある為、保護者とのやり取りを今後も密にする
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	67%	11%	保護者を通じて連絡体制は取っている。児童によっては直接病院と連絡を取っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	22%	56%	主に保護者から聞き取っている	保護者からの要望や事業所として情報があれば、保護者に確認したうえで事業所とやり取りし情報を共有していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	33%	44%		保護者に意向を確認して必要であればやり取りをしていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	33%	33%	年間を通して児童発達支援センターの研修には参加している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	33%	44%	放課後児童クラブと交流を行う予定でやり取りを進めていたが、コロナ禍で中止となった	今後状況をみて交流に向けてやり取りを進めていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	44%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	78%	0%	経過記録や送迎時の申し送り、電話等を通じて行っている	日々の申し送り等を通じて更に保護者との共通理解に努める
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	22%	44%	保護者からの相談がある場合には事業所等の取り組みを伝え、ご自宅での対応にいかせていただいている	職員間での浸透を十分にするために研修等で理解を深めていく	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	67%	0%	直接説明を行っている	今後も変更等あればその都度説明を行う
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	67%	11%	保護者からの相談には応じている	職員が様々な内容に適切な助言ができるように内部や外部研修に参加していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11%	56%	行事ごとに保護者会を開催する予定だったがコロナ禍で実施できていない	今後、状況を見て開催する予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	78%	0%	何かあった際など職員間で原因を追究し改善策を保護者に提示している	今後も迅速かつ適切に対応していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	78%	0%	機関紙を発行している。また行事についてはお知らせを配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	89%	0%	取扱いに注意している。また定期的に職員に注意喚起している。	今後も定期的に職員に注意喚起を行い情報の取扱いに気を付けていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	89%	0%	必要であれば直接伝えたり電話連絡している	児童の特性に合わせて連絡手段を考えて情報のやり取りをしていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	44%	44%	コロナ禍で行えていない	今後状況を見て行うか判断していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	44%	33%	職員にマニュアルがある事は周知しているが保護者にはすべてに対して周知できていない	防犯、緊急時対応のマニュアルを必要に応じて保護者にも周知する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	89%	0%	避難訓練等を行っているまた、年2回管内全体の消防訓練にも参加している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	78%	11%	毎年大阪府の研修に参加している	継続し、参加した職員による内部研修も行っていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	67%	0%	保護者に説明し必要な児童には主治医の許可も得ている。また、個別支援計画書にも記載している。	今後も職員間で討議し、保護者と相談していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	78%	0%	保護者からの聞き取りで重篤なアレルギー症状がある児童に関しては主治医指示書をいただいている	今後も必要に応じて指示書をいただくなどする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	78%	0%	ファイリングし職員がいつでも閲覧できるようにしている。また、会議の際などに職員に周知している。	今後も継続していく

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 5月 11日

事業所名 門真市障がい者福祉センター 放課後等デイサービス 保護者等数(児童数) 26名 回収数 17名 割合 65 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	0%	0%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%	0%	0%	0%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%	0%	0%	0%		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%	0%		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	29%	12%	12%	47%	コロナの為	コロナにより延期になった為、今年度は交流する予定。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	94%	0%	0%	6%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24%	18%	6%	53%	今はできないが以前はしていた	コロナにより開催できなかった為、今年度は状況を踏まえて開催する予定。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	0%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	0%		
	14 個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	94%	0%	6%	0%		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	65%	0%	0%	35%		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	0%		
	18 事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。